

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語ⅡB
科目基礎情報						
科目番号	190027		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建設環境工学科 (2018年度以前入学者)		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	MY WAY English CommunicationⅡ New Edition (三省堂), ワークブック(アドアバンス), コーパス4500 (東京書籍)					
担当教員	安部 剛,鳥羽 素子					
到達目標						
英語の4技能、読む、書く、聞く、話す、の全ての向上を目指し、英検準2級から2級程度の語学力および教養を身に付ける。さらに、青年期の学生にふさわしい内容の教材を使用して、異文化について英語を通じて学び、異文化理解能力を身に付け、人間的成長を目指す。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1		長い英文を相手が聞いて分かるように音読できる。		少しは詰まるが、長文の中の各文を最後まで音読できる。		英文の音読ができない。
評価項目2		英文の文法構造が理解でき、身近な話題で英語の文章が作成できる。		文法構造を理解してはいるが、少しの間違いがある。簡単な英作文はできる。		英文の文法構造が全く理解できない。
評価項目3		ワークブック(アドバンス)及びノートに、授業内容を理解して整理し、自分のさらなる改善点が発見できる。		ワークシート及びノートに、学習内容を整理することができる。		ワークブック及びノートに、学習内容が整理できていない。
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		英語の4技能、読む、書く、聞く、話す、の全ての向上を目指し、英検準2級から2級程度の語学力および教養を身に付ける。さらに、青年期の学生にふさわしい内容の教材を使用して、異文化について英語を通じて学び、異文化理解能力を身に付け、人間的成長を目指す。				
授業の進め方・方法		教科書の各レッスンに沿って授業を展開し、ワークブックを最大限活用しながら授業内容の理解を深める。同時に、語彙力の強化のため4500より英単語テストを前期・後期に実施する。授業には、毎週事前に予習してから取り組むものとする。辞書をよく引き語彙力を強化する。各レッスンの文法を理解しながら、英文内容の理解を深める。英文理解の確認のため、授業中に日本語への訳出も行う。教科書の各レッスンで取り扱う多種多様なテーマに興味を持ち、学生のモチベーションを上げて、モチベーションを継続させることを目指したい。教科書を中心に授業を進め、様々な副教材も取り入れて、英語学習の楽しさを味わわせて、英語学習への興味関心と学習意欲向上の相乗効果をねらう。				
注意点		学習進度の遅い学生には、定期試験や小テストの結果を再度分析し、適宜、個別に適切な指導を与えて、学習効果が上がるように支援していきたい。				
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス Lesson 1 Pictograms		すばやく情報を伝えるピクトグラム、SVC,SVO/SVO (O=if節) /SVC (C=分詞)	
		2週	Lesson 1		すばやく情報を伝えるピクトグラム、SVC,SVO/SVO (O=if節) /SVC (C=分詞)	
		3週	Lesson 1 Lesson 2		すばやく情報を伝えるピクトグラム、SVC,SVO/SVO (O=if節) /SVC (C=分詞) 海のプラスチックごみ回収のためのアイディア、SVOO (O=that / what節) / SVOO (O=if節) / It seems that節	
		4週	Lesson 2		海のプラスチックごみ回収のためのアイディア、SVOO (O=that / what節) / SVOO (O=if節) / It seems that節	
		5週	Lesson 2 Lesson 3		海のプラスチックごみ回収のためのアイディア、SVOO (O=that / what節) / SVOO (O=if節) / It seems that節	
		6週	Lesson 3		平等と助け合いの国、形式主語のit / 形式目的語のit	
		7週	Lesson 3 小テスト		平等と助け合いの国、形式主語のit / 形式目的語のit	
		8週	Lesson 1～3の復習、中間試験前準備問題演習		前期中間期の総復習、中間試験準備のための問題演習の実施	
	2ndQ	9週	前期中間試験		前期中間期の学習熟度の確認	
		10週	試験返却・解説, Lesson 4		「世界で最も貧しい大統領」のメッセージ、SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC (V=make / have, C=過去分詞) / help+O+動詞の原形	
		11週	Lesson 4		「世界で最も貧しい大統領」のメッセージ、SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC (V=make / have, C=過去分詞) / help+O+動詞の原形	
		12週	Lesson 4		「世界で最も貧しい大統領」のメッセージ、SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC (V=make / have, C=過去分詞) / help+O+動詞の原形	
		13週	Lesson 5		目で伝えるコミュニケーション、関係代名詞(主格) / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法	

後期		14週	Lesson 5 小テスト	目で伝えるコミュニケーション、関係代名詞(主格) / 前置詞 + 関係代名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法
		15週	Lesson 4～5の復習、期末試験準備問題演習	前期期末期の総復習、期末試験準備のための問題演習
		16週	期末試験	前期期末期の学習習熟度を確認
	3rdQ	1週	夏休み課題内容確認、解説、英単語小テスト	夏休み課題の内容に沿った問題演習をして習熟度を確認
		2週	Lesson 6	エレベーターで宇宙の旅へ、現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来進行形
		3週	Lesson 6	エレベーターで宇宙の旅へ、現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来進行形
		4週	Lesson 6 Lesson 7	エレベーターで宇宙の旅へ、現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来進行形 歌がくれた勇気と希望、助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / wouldを使った表現 / 完了不定詞
		5週	Lesson 7	歌がくれた勇気と希望、助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / wouldを使った表現 / 完了不定詞
		6週	Lesson 7	歌がくれた勇気と希望、助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / wouldを使った表現 / 完了不定詞
		7週	Lesson 6～7の復習、中間試験前準備問題演習	後期中間期の総復習、中間試験準備の問題演習
		8週	後期中間試験	後期中間期の学習習熟度を確認
	4thQ	9週	試験返却・解説、Lesson 8	分化の出合いはことばの出合い、仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わない仮定法 / no matter+疑問詞
		10週	Lesson 8	分化の出合いはことばの出合い、仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わない仮定法 / no matter+疑問詞
		11週	Lesson 8 Lesson 9 小テスト	分化の出合いはことばの出合い、仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わない仮定法 / no matter+疑問詞 喜劇王と言われたチャップリンの半生、分詞構文 / 受け身の分詞構文 / 完了形の分詞構文 / 付帯状況のwith
		12週	Lesson 9	喜劇王と言われたチャップリンの半生、分詞構文 / 受け身の分詞構文 / 完了形の分詞構文 / 付帯状況のwith
		13週	Lesson 9 Lesson 10	喜劇王と言われたチャップリンの半生、分詞構文 / 受け身の分詞構文 / 完了形の分詞構文 / 付帯状況のwith 五重塔が倒れない理由、同格を表すthat節 / 倒置 / 省略 / 強調構文
		14週	Lesson 10	五重塔が倒れない理由、同格を表すthat節 / 倒置 / 省略 / 強調構文
		15週	Lesson 8～10の復習、期末試験前準備問題演習	後期期の総復習、期末試験準備の問題演習
		16週	学年末試験	後期期末期の学習習熟度を確認

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	

			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	提出物	発表点	合計	合計
総合評価割合	160	20	10	0	190	380
総合評価割合	80	10	5	0	95	190
読解力	60	0	5	2.5	65	130
表現力	20	0	0	2.5	20	40
語彙表現	0	10	0	0	10	20